

## 平成29年度 磐田市立福田中学校 学校評価書

重点	目標・取組	評価指標	自己評価	考察・改善策	学校関係者評価委員から
学ぶ喜びを感じる生徒	授業や家庭学習の取組を通して、主体的な学習態度を身につけた生徒の育成	「教師や友だちに聞いたり、自分で調べたりして(進んで)学習できる」(70%)	B	○「教師や友だちに聞いたり、自分で調べたりして(進んで)学習している」と答えた生徒 <b>71%</b> 。 ※全体では昨年度の65%から数値が伸びた。数年前から継続している定期テスト前の「放課後学習相談会」への参加者が増加するなど、生徒の学力向上に対する意識は高まってきている。来年度も今年度と同様、「放課後学習相談会」や夏季休業中の「学習支援(補習)」を地域の方々の力を借りて継続していきたい。また、家庭学習の習慣を身につけさせる指導も徹底していきたい。	・放課後学習相談会や夏季休業中の補充学習は、地域の方々の力を借りて是非継続してほしい。 ・放課後学習相談会へ参加する生徒が増えてきていることは良いが、それにともない学習到達度の幅が広がっているため、相談会の形式を工夫していく必要がある。 ・学校では進んで学習に取り組んでいる生徒が多いため、教科の面白さを生徒に伝え、それを家庭学習の習慣化へとつなげていきたい。
友と創る生徒	学校行事等への取組を通して、「感動」を友とつくり共有する生徒の育成	「学級・生徒会活動や学校行事に進んで取り組み、喜び、悔しさなどの感動を友と共有できた」(86%)	B	○「学級・生徒会活動や学校行事に進んで取り組み、喜び、悔しさなどの感動を友と分かち合えた」と答えた生徒 <b>86%</b> 。 ※昨年度に続き、目標数値を達成することができた。ここ数年、学校行事や生徒会活動、学級活動等に対する生徒の意識が向上してきている。日々の委員会活動や係活動も責任をもって行うことができる生徒が多い。来年度も一人一役を基本とし、「認め、励まし、賞揚する」機会を多くつこと、生徒の自尊感情を高めていく指導を継続していきたい。	・与えられたことに責任をもってやり遂げ、達成感や喜びを感じさせることは、とても大切なことである。 ・生徒の自尊感情を高める指導を継続してもらいたい。 ・行事などの精選は必要であるが、子どもたちが感動を味わえる機会は、なるべく減らさないでほしい。 ・自尊感情が高まることで、困難に立ち向かい、これからの社会を力強く生き抜く原動力が生まれてくると思う。
良好な生活習慣を身につけた生徒	良好な生活習慣を確立することにより、高い規範意識をもつ生徒の育成	「学級・学校には互いにルールを守り、協力する雰囲気がある」(83%)	B	○「私たちの学級(学校)には、互いにルールを守り、協力する雰囲気がある」と答えた生徒 <b>83%</b> 。 ※年々数値の向上が見られる。今年度も昨年度の82%から数値を伸ばした。学校という集団での生活を円滑にするためには、ルールを守ることが大切であると考えられる生徒が増えてきていることがその要因であると考えられる。来年度も「生徒が安心・安全に生活できる学校」をめざし、家庭や地域と協力・連携して生徒の指導にあたっていきたい。	・数年前に比べ、約束を守るなど当たり前のことが当たり前になるようになってきており、とても良い。 ・服装などの乱れが減ってきている。今後も、当たり前のことが当たり前でできていることを認め褒めてあげてほしい。 ・生徒の授業態度や掲示物など整然と整備された教室環境から、良好で安定した学級・学校運営の一端が垣間見える。 ・一部ではあるが、「自分一人くらい…」とか「見つからなければ…」と考えている生徒もいる。飲食店でのマナーの悪さも気になる。継続的に指導していく必要がある。
命を守り健康な体をつくる生徒	命を守る判断力を持ち、主体的に心身の健康づくりに努める生徒の育成	「健康10か条を守って生活できた」(87%)	C	○「健康10か条を守って生活できた」と答えた生徒 <b>85%</b> 。 ※目標数値を2%下回った。毎月行う健康チェックカードでは、挨拶や睡眠時間などの生活習慣においては良い評価をする生徒が多かった。しかし、地域の方から自転車マナーについての苦情が寄せられており、一部生徒の安全への意識が低い。来年度も教職員が定期的に見回りや登校指導を行うとともに、年度初めに交通安全教室を位置づけ、生徒の安全意識の向上を図りたい。また、学府として保育園、こども園、小学校と連携しながら指導にあたりたい。	・人命救助で生徒が表彰されたが、見て見ぬ振りをせず、自分ができることを判断して行動できたことが素晴らしい。 ・体格に比べ、運動能力が相対的に劣っている。運動習慣を身につけられるような指導が必要である。 ・自転車マナーについては、地域の見守りの力を借りて、生徒の意識を向上させていけると良い。 ・事故が起きてからでは遅いので、事前に指導の手を入れていきたい。
頼もしい教師	「学びの実感」を積み重ね、求められる学力を身につけた生徒の育成	「授業の内容がよく分かる」(75%)	B	○「授業の内容がよく分かる」と答えた生徒 <b>77%</b> 。 ※全体では昨年度の73%から数値が伸びた。数学科のTT指導や支援員による学習支援など、個に応じたきめ細やかな指導の成果が数値に表れてきているものと思われる。しかし、全国学力・学習状況調査などの結果を分析すると学力定着の面で、今一步の努力が必要であると考えられる。職員で分析結果を共有し、本校の生徒に付けたい力を確実に身に付けさせるように、更なる授業改善を図っていきたい。	・生徒は授業に落ち着いて取り組めており、今後も「わかる」授業を積み重ねることで生徒の力を伸ばしてほしい。 ・校内研修の充実によって、各教科の授業で「主体的・対話的で深い学び」が積み重ねられていくことを期待している。 ・授業の内容は分かると答えている生徒が多いのに、学力向上に結びついていないという現状から、授業改善の必要性を感じる。 ・学力の定着には家庭学習などの復習も必要である。小学校(こども園・保育園)と連携して、「やるべきことをきちんとやり遂げる」習慣づくりをしていくことが必要である。

### 学校関係者評価を受けてのまとめ

まだまだ油断できる状況ではないが、ここ数年の指導の継続により学校生活全体に落ち着きが出てきており、授業や委員会・係活動、学校行事など、さまざまな活動に前向きに取り組むことのできる生徒が増加してきている。今後も生徒の頑張りを「認め・励まし・褒める」指導を継続することにより、保護者や地域の方々、保育園・こども園・小学校と連携しながら福田の子どもたちの成長を支えていきたい。

特に、来年度は「志」をキーワードに、学習に対する目的意識を明確にもたせるとともに、将来の目標実現のための計画と継続的な努力の必要性などを考えさせることに力をいれていきたい。